



農業知識広場

農へのこだわり

〜知っててよかった〜

日田直樹 指導員



農業は奥が深く難しいと痛感しています。農家の技術力が向上して、喜んでもらえる営農指導を目指します。

『カバープランツ』

カバープランツとは、植物で土地を覆うという意味で、日本語では地被植物と略されています。

地表を覆うように背丈が低く生育し、茎や枝を横に伸ばして地面を低く覆うため、土壌の乾燥や土壌の流亡の他、雑草の繁茂を防ぐ役割があります。特に水田の畦畔除草は機械による省力化が困難で、水田管理の中で非常に重労働となっています。

そこで、近年カバープランツを利用した管理の省力化が図られています。

また、アレロパシー(他感作用)といわれる植物や微生物等が出す化学物質によって他の植物が何らかの作用を受ける現象による、生育抑制効果や病害虫防除効果を持つもの、景観美化形成につながるものが現在、普及しています。

●センチピードグラス(ティフフレア)



東アジア原産のイネ科植物で、匍匐茎を持つ被覆力の強い暖地型芝草です。和名をムカデシバといい、ランナーがムカデに似ていることに由来しています。

アレロパシーを持ち雑草の発生や生育を抑制し、永続性に優れ、耐暑性、耐乾性が強いのが特徴。水際で匍匐が止まる性質を持つため水田畦畔に適しています。

センチピードグラスを定植する場合は事前に周囲の雑草を刈り払い、雑草の多い所では事前のラウンドアップマックスロードの除草剤処理やマルチなどの被覆資材で地面を覆います。

早期緑化を図るため通常、200穴セルトレーで本葉4〜5枚、草丈3〜4cmに育苗されたセル苗を匍匐茎が出やすい深植えに定植します。栽植本数は16〜36

株/mを目安とします。

●シバザクラ



北米原産のハナシノブ科の多年生植物です。5枚の花びらで桜に似た形の淡い桃色等の花を咲かせ、葉形や匍匐性などから芝桜と名付けられました。

アレロパシーを持ち雑草抑制効果が高く、耐寒性や耐乾性が強く土質を選ばないので非常に育てやすいのが特徴です。また、地被能力が高く春季には畦畔法面に花じゅうたんを形成して景観を鑑賞できるため広く利用されています。

植え付けについては、挿し芽と株分けの2通りの方法があります。挿し芽の場合は、4〜5月と9月頃の年2回、健康な茎を5〜10cmほどの長さに切り1/3ほど下葉を取って土に挿します。株分けは花が終わる6月と涼しくなる9月〜10月頃が適しています。植え付けについ

ては、生育が早い上に周囲に広がりながら育つため、あらかじめ株と株の間を30cm以上あけて植え付けます。

農業に利用される代表的なものを2つ紹介しましたが、この他にもリュウノヒゲやクローバーなど用途や環境条件によりいろいろなものが利用されます。詳しくは、各地域の営農指導員または最寄りの営農事務所までご相談ください。

今月の農作業

●春作の前に土づくり

本格的な農作業の始まる前に、しっかりと土づくりをしておきましょう。堆肥は土になじむまで少し時間がかかります。作付けの1か月前くらいから堆肥をすき込む等の準備を行いましょ。

営農のことに関するアドバイス

営農110番

水稲・野菜・花き・果樹など、農業に関するアドバイスをいたします。

受付：平日 9:00～17:30

- 広島南営農事務所 ☎(082) 849-6355
- 広島北営農事務所 ☎(082) 841-4919
- 山県営農事務所 ☎(0826) 85-0020
- 本店指導販売課 ☎(082) 870-5893

※本店指導販売課では土曜日9:00～12:00まで対応